

奈弓連だより

通巻 246 号

令和 4 年 8 月 号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 松澤和実 中西省五

連絡先：henshu@narakyudo.jp

全日本男子弓道選手権大会・全日本女子弓道選手権大会近畿地域弓道連合会予選会 大西洋亮選手、松村由喜子選手、東中千佳選手が近畿代表に選出

7月24日(日)に橿原公苑弓道場において標題の大会が開催されました。近畿6府県から男子30名、女子27名の代表選手が参加。予選(近的一手2回、合計得点及び半矢以上の的中)の男女上位各10名が決勝へ。決勝では近的一手2回(合計4射)の的中により、男女上位各6名が近畿の代表選手として選出されました。奈良県から男子は綿松・佐藤・吉本・大西・藤岡の5選手、女子は坂本・松村・白井・長濱・東中の5選手が出場、大西・松村・東中の3選手が決勝進出、近畿代表に選出されました。また、午前は女子の部、午後は男子の部と分かれたため、それぞれの閉会式で、採点委員の林文夫範士九段より講評がありました。

女子の部：矢束の足りない人が多い。会で矢束が残るのはどうか。会で骨いっぱい矢束をとれるように。充分な会での伸び合い、その続きの離れを。

男子の部：予選では若さを感じたが、決勝では的に呼ばれ過ぎたように思える。会をもっと楽しんでほしい。手首の勝負ではなく、肘の働きが必要。



(採点委員長は西中教士、採点委員は林範士、佐竹範士、中野範士、上塚教士、砂口教士、千田教士の各先生方があたられました。)(事務局)

<代表初選出の大西選手より>

全日本選手権大会は、恩師や諸先輩方のお話を伺う中で「いつの日かご縁があったら良いな」と憧れていた大会でした。文字通りの“憧れ”であり、予選後も「1人だけ場違いなのではないか」と不安が先行していました。しかし、恩師や弓友から想像以上の祝福をいただくと同時に、これ以上無い学びの場であることに気付かされ、気持ちを新たにすることができました。伊勢の神様がくださった学びの機会を、失敗も含めて精一杯味わって来ようと思いますので、厳しくも温かいご指導をよろしくお願い申し上げます。予選会の運営にご尽力くださった全ての皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(郡山支部 大西洋亮)

国体近畿ブロック大会開催 少年男子・成年男子・成年女子、 いちご一会栃木国体(9/10-13)へ進出決定

標題の大会が8月13日(土)(少年男子、少年女子)8月14日(日)(成年男子、成年女子)、京都府綾部市で開催されました。少年女子は惜しくも4位でしたが、少年男子は総合2位、成年男子は総合3位、成年女子は総合1位で本国体への切符を手に入れました。



共に戦う仲間たち(少年男子、少年女子)

(成年女子監督より)

時折ザーッと雨が降る蒸し暑い日、成年女子チームは遠的・近的の総合順位で1位となり、本国体への切符を手に入れました。奈良から応援してくださった皆様のおかげです。ありがとうございました。成年女子は2016年岩手国体を最後に本国体に進めておらず、「とにかく本戦にいこう!」を合言葉に酷暑の中、女子6人休むことなく練習を重ねてきました。当日ギリギリのところまで踏みとどまり戦い切れたのは、チームワークの賜物でしょう。運も多分に味方してくれて貴重な勉強の機会を与えられました。競射の末、最後の1枠を勝ち取った男子とともに、全国から集まる猛者たちとの戦いを味わってきたいと思えます。

行ってきます!

(成年女子監督 揚田よう子)



第73回奈良県中学校総合体育大会弓道の部 男子:団体 白樫Aチーム、個人 豊内選手(白樫) 女子:団体 香芝Aチーム、個人 村井選手(香芝) それぞれ第一位で全国大会へ

7月21日(木)個人・団体予選、22日(金)個人・団体決勝が橿原公苑弓道場において開催されました。3年生最後の県の大会となり、男子67人、女子90人の参加がありました。優勝した団体・個人は、全国大会(ドルフィンズアリーナ愛知県体育館にて8月8日、9日開催)の出場権を得る試合です。

- <個人>男子
 1位 豊内 陸 (白樫)
 2位 石井 貴一朗 (樫原)
 3位 中村 湊月 (八木)
- 女子
 村井 唯夏 (香芝)
 今中 菜々美 (天理南)
 竹内 莉音 (樫原)

- <団体>男子
 1位 白樫中A (廣瀬、竹村、豊内、丹喜)
 2位 樫原中A (都築、中尾、稲岡、片石)
 3位 八木中A (中村、松村、巽、馬場)

- 女子
 1位 香芝中A (北川、森本、村井、竹内)
 2位 樫原中B (西、酒井、竹内、甘利)
 3位 樫原中A (志方、藤田、渡邊、岸村)



個人戦の入賞者
 左から女子1位 2位 1位 男子1位 2位 3位



女子団体戦の入賞者
 前列 香芝A、後列左 樫原B、後列右 樫原A



男子団体戦の入賞者
 前列 白樫A 後列左 樫原A 後列右 八木A
 (中体連 中前芳一)

**第18回 近畿中学生弓道大会
 男子個人で豊内陸選手(白樫中)が優勝**

7月31日(日)、3年ぶりに近畿中学生弓道大会が大阪城弓道場で実施されました。各校、各団体2チーム(6名)までの参加で、女子16団体(58名)、男子15団体(59名)の参加がありました。

- 団体では男女各2チームが決勝に進出しました。
- 男子 白樫A (廣瀬、竹村、豊内) 2位入賞
 樫原 (都築、中尾、稲岡) 4位
- 女子 樫原 (志方、藤田、渡邊) 3位入賞
 天理南 (今中、美和、田原) 4位

男子個人の部では、県総体に続いて豊内陸(白樫)が

優勝、中村湊月(八木)が3位に入賞。女子個人では、渡邊さや(樫原)が2位に入賞しました。



男子:白樫Aチーム 女子:樫原チーム



(中体連 中前芳一)

**第19回全国中学生弓道大会ジュニアオリンピックカップ
 女子個人で村井選手(香芝中)が3位入賞
 男子個人で豊内選手(白樫中)が5位入賞
 男子団体で白樫中が5位入賞**

8月8日(月)・9日(火)にドルフィンズアリーナ愛知県体育館にて男子42団体、男子個人44名、女子41団体、女子個人44名の選手が参加して、開催されました。アリーナでの大会のため空調の効果で期間中は弓を引きやすい環境でした。奈良県勢は男子、女子ともに団体も個人も決勝進出を果たすことができました。

<予選>

- 個人 8射5中以上で通過
- 男子 豊内 陸 (白樫中3年) 8射8中 通過
 女子 村井 唯夏 (香芝中3年) 8射6中 通過
- 団体 各人8射計24射の総的中上位16チーム通過
- 男子 白樫中 (丹喜、竹村、豊内、廣瀬)
 24射11中 決勝進出
- 女子 香芝中 (北川、森本、村井、竹内)
 24射9中 同中競射を7回行い決勝進出

<決勝>

- 個人 男子 豊内 陸 (白樫中3年)
 射詰○×→遠近競射により5位入賞
- 女子 村井 唯夏 (香芝中3年)
 射詰× →遠近競射により3位入賞
- 団体 男子 白樫中は2回戦で敗退し5位入賞
 女子 香芝中は1回戦で敗退



出場選手の皆さんと先生方
 (中体連 中前芳一)

第75回近畿高等学校弓道大会

**個人男子:横田選手、個人女子:多田選手、
団体女子:西の京が優勝**

7月23日、24日に京都市武道センター弓道場において標題の大会が開催されました。

男子・女子の個人予選は8射5中以上で通過です。

奈良県からは男女各10名参加で各5名通過しました。

<個人>決勝射詰

男子	横田 陽斗 (法隆寺国際)	〇〇〇〇〇	1位入賞
	永山 琉人 (桜井)	〇〇×	
	島本 歩暉 (高田商業)	〇〇×	
	中島 健太郎 (桜井)	×	
	酒永 大輔 (桜井)	〇〇×	
女子	植木 花音 (郡山)	〇×	
	伊藤 華鈴 (桜井)	〇×	
	武村 亜美 (高田商業)	〇〇×	7位入賞
	多田 朱葉 (五條)	〇〇〇〇	1位入賞
	奥田 瑞希 (桜井)	〇〇×	3位入賞

<団体>

奈良県から男子団体3校(桜井・郡山・法隆寺国際)が参加し、3校とも予選通過しました。女子は4校(西の京、郡山、橿原、高田商業)が参加し、西の京、橿原、高田商業の3校が予選通過しました。

男子は1回戦で桜井・郡山が勝ち上がり、準決勝に進出するも敗退しました。女子は奈良県同志の対戦が2試合あり、西の京が大会を制しました。

結果は以下の通りです。

男子 3位 桜井・郡山

女子 1位 西の京、3位 高田商業



入賞された皆さん (高体連 布施慈人)

全国高等学校総合体育大会

第67回全国高等学校弓道大会

男子個人で永山選手(桜井)が8位入賞

8月6日(土)～9日(火)、徳島県徳島市とくぎんトモニアリーナにおいて開催されました。

<個人>

男子	予選	準決勝	決勝射詰
横田 陽斗 (法隆寺国際)	4射皆中 (通過)	4射3中 (通過)	×
永山 琉人 (桜井)	4射3中 (通過)	4射3中 (通過)	〇〇〇〇×
女子			8位入賞
神谷 陽里 (西の京)	4射皆中 (通過)	4射1中 (敗退)	
高木 彩葉 (奈良)	4射1中 (敗退)		

<団体>

男子 郡山 藤田 悠馬・井阪 祥也・中井 雄大
児玉 篤洋・山口 高広・川上 碧空
予選 20射13中(通過)
決勝トーナメント 1回戦敗退

女子 郡山 廣谷 萌音・植木 花音・鮫島 絢
鳥見 彩花・嵯峨 晴風・有持 笑子
予選 20射7中(敗退)



左:男子個人8位
永山 琉人(桜井)

(高体連 布施慈人)

第3回伝達講習会

手先でなく体で大きく離す、体で離れを生む

7月17日(日)橿原公苑弓道場において開催されました。講師は第1回と同じく、藤岡順先生、吉本清巳先生、松村由喜子先生、白井礼子先生が務められ、主に四、五段の受講生が午前・午後(各26名)に分かれて実施しました。

伝達事項の説明(第1、2回と同じ内容)の後、講師の先生方による模範演武が行われました。伝達事項の中にある「手先でなく体で大きく離す」「体で離れを生む」を頭において、先生方の気迫に満ちた射をしっかりと見てから、受講生は一手行射に臨みました。射技指導は2回でしたが、先生方は限られた時間の中で、少しでも良い射が出るよう熱心に指導してくださり、受講生は忘れないようにすぐにメモをとったり、他の人の指導を受けている様子を近くで見たり、真剣に取り組む様子がうかがえました。



指導にも熱が入る

<西中会長の講評>

- ・丁寧なやろうとしているが無駄な動きが多い。
- ・最初の手の内、妻手の形を動かさないで保つようにすること。
- ・楯は伸び縮みが一番少ない鹿の皮で作られている。楯は自分の体の一部だと思って力を入れず、楯をもっと信用すること。ぎり粉の使用は大切であり、また、この時期は湿気に注意するように。
- ・残身は離れの後だけでなく、弓倒し、物見返しまでが残身である。

暑い中、一日ご指導頂きました先生方、ありがとうございました。
(指導部 越智和子)

第14回昆布杯弓道大会 総勢107名、猛暑の中で

8月7日(日)の猛暑の中、橿原公苑弓道場にて、橿原市弓道協会の標題の大会を開催しました。コロナ禍で密を避けるため、午前中学生の部、午後協会会員の部及び弓道スクールの部と、分散して実施するとともに、熱中症防止にも気を配りながらの運営でした。参加者107名(中学生 男子23名、女子28名、協会会員45名、弓道スクール11名)

中学生の部 (4射、うち一手採点)

男子		女子	
1位	石井 貴一朗 (橿原中)	北川 佳苗 (大成中)	
2位	片石 悠太郎 (橿原中)	関本 恋奈 (八木中)	
3位	豊内 陸 (白橿中)	中村 日菜里 (大成中)	



中学生の部 入賞者のみなさん

射技優秀賞	最優秀賞	中村 愛美 (八木中)
	優秀賞	石井 貴一朗 (橿原中)
	優秀賞	片石 悠太郎 (橿原中)



射技優秀賞のみなさん

弓道スクールの部 (6射、一手3回)

1位 畑 嘉生

協会会員の部 (6射、うち五段以下に対して一手採点)

1位 小林 利恵子 弐段

2位 衛藤 博史 五段

3位 阪中 計夫 教士六段

最高得点賞 (五段以下)

西尾 信行 五段



左から 衛藤、小林、西尾、畑、阪中 各選手
(橿原支部 中野順平)

大和郡山市弓道協会・シニア部 あこがれの伊勢神宮弓道場で練習会を

7月19日(火)～20日(水)、シニア部の15名が参加して、練習会が行われました。

住吉武道館弓道教室の合宿で初めて伊勢神宮弓道場で行射させていただいて以来、この道場に魅せられてしまいました。80歳を前にもう一度、彼の地で弓を引きたいと協会の皆さまにお願いし、4回目の伊勢神宮弓道場の訪問となりました。須田先生から、建物の内壁の菱格子は皇族の方が御出でになられた時のガード役として設計されたとお聴きし、是非、設計図を見たいものだと思います。



あこがれの道場で

多分、大きな開口部を地震や台風から守る工夫が沢山隠されているのではないかと思います。射場の折り上げ格天井※、床、柱、壁、そして屋根葺き材等、多くの桧材が伊勢神宮遷宮時の御下がりを使用されているのではないかと想像できます。長い間、早急に悩んでいる私ですが「神頼み」で伊勢神宮にやっってはまいりましたが、思うようにはなりません。須田先生には的を狙うのではなく自身の心の的を狙うようにとのご指導をいただきましたが、それがどういうことなのか。実感できないでいる私です。まだ自分の的探しを続けなければならないようです。頭の中ではイメージで弓の引き方は完成しているつもりですが、情けないことに思うようにいかない、心の弱さが足を引っ張っています。これからもご指導をお願いいたします。

(大和郡山市弓道協会 森川昭)

※格天井の一部を高くした「折り上げ格天井(おりあげごうてんじょう)」は、寺院建築や書院造りなどの大広間などに用いられ、格式の高い部屋に用いる。

編 | 集 | 後 | 記

全日本、とちぎ国体に奈良県が駒を進め、中学生や高校生の大会で優勝・入賞など活躍されています。おめでとうございます！暑い中ですが、講習会や支部活動も盛んで、編集委員は嬉しい悲鳴をあげています。今後も感染対策・熱中症予防など、皆で協力して活動をとめずにいきましょう。

さて、大会や講習会の開会式・閉会式で、そして練習会で、先生方がとても大切な事をおっしゃっていました。一つ一つ深く心に刻んで、自身の射と向き合いたいと思いました。(編集委員 松澤和実)